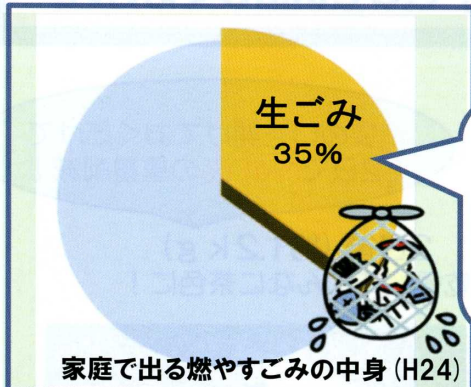


生ごみの水切りのお願い

●生ごみを出すときは、しっかり水切りをしてから、お出してください。



生ごみの水切りによるメリット

- 水切り1回で生ごみの重さが10%減
- 水分が減ることで焼却効率がアップ！

横浜市全世帯で、毎日水切り1回を1年間行ったとすると

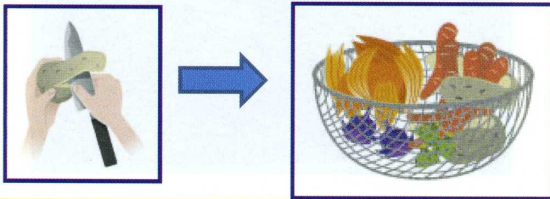


杉の木約7万3千本が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。
(温室効果ガス約1,000t)



●生ごみの水切りのひと工夫

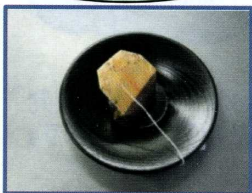
その1 まずは水にぬらさない！



- ・野菜や果物の皮や芯などは、流し台のシンクにある三角コーナーや排水溝内の受け皿には入れない。
- ・皮むきが必要な野菜や果物は、洗う前に皮むきする。

その2 乾かす！

ティーバッグ



茶がら



- ・茶がらやティーバッグは、水気をしぼり、乾かして出す。
- ・野菜や果物の皮は、乾かしてから出す。

その3 しぼる！

【ペットボトルを使ってしぼる方法】



- ・水分を含んだごみは、たまった水分を「ぎゅっと」しぼってから出す。
- ・不要になったCDやペットボトルなどを使えば手が汚れません。

【CDを使ってしぼる方法】



ペットボトルの先端部分を切ったものを準備します。水切りネットをペットボトルの穴に通して、「ぎゅっと」しぼります。不要になったCDの穴に通してしぼる方法もあるよ。



ヨコハマ3R夢！
マスコット「イーオ」

